

## ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会について

JESCOでは、平成19年1月24日に、専門の知識と経験を有する学識経験者で構成されるポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学理工学部教授）を開催し、東京PCB廃棄物処理施設における再開後の操業状況について報告し、審議検討いただきました。

### 検討の概要

平成18年10月23日から操業を再開し、操業再開後の安全管理体制、処理状況、水熱腐食点検結果、安定器処理の課題、オンラインモニタリングのサンプリングポイント変更調査等について報告を行いました。

委員からは各種質疑のほか次のようなご指摘がありました。

再開後の操業状況について、安定器処理の課題について

- ・ヒヤリハットは、平均して提出されるよう、ヒヤリハット報告システムを浸透すること。
- ・安定器の形状・材質等については、PCB廃棄物処理事業検討委員会技術部会で報告書をまとめた経緯もあり、その後の調査による新しい情報については、引き続き報告すること。
- ・安定器分別装置におけるアルミ混入率の目標（0.06%）を安定的に維持できるようその方法を検討すること。
- ・水熱分解反応塔における腐蝕点検は、当初の方針のとおり実施しデータを添付のうえ引き続き報告すること。

オンラインモニタリングのインタロック位置等の調査検討について

- ・むやみにインタロックが作動せぬよう引き続き検討を進めること。